

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ゆめの園みらいず春日町 放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	2025年1月04日		～ 2025年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	51	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	2025年1月04日		～ 2025年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	意思尊重支援について、職員教育と研修研鑽を積み、相互理解のため、議論を共有しながら、個別支援計画への落とし込みを実施していること	毎月ケース検討会議を行い、個別支援計画のブラッシュアップや、意思尊重支援について検討議論を行っている。 また、本業がある中で、議論に多くの時間は避けない。研修の核については、各自e-ラーニングシステムを活用し、動画視聴等の方法で学びを深めている。	中途職員や新卒職員にも、確実に過去の研修動画や、会議議事録に目を通してもらい、同じ価値観や支援方針を共有・統一すること。 また既存職員についても、更なる学びを各自の理解や興味に応じて展開できるような、任意の研修ラインナップを組み、推奨していること。
2	「運営規程、プログラム、負担額等の丁寧な説明」および「十分な意思疎通や情報伝達配慮」によって「児の健康や発達の共通理解ができています」と、「児の安心感・支援満足度」を頂いていること（上記項目は満票評価）	登降園管理と連絡帳・写真のやり取り等について、事業所・保護者双方でスマホアプリを導入したことで、タイムリーで確実かつ一斉配信による効率化も可能な意思疎通・情報連携が可能になっている	電話や対面から、メッセージのやり取りによる情報連絡が主流となりつつあるため、極カタイムラグのない返信を意識し、体制整備をすることと、そのやり取りが記録として保管される利点を受受する為、誤字脱字や誤解のないような、文章作成や文体チェックで、さらなる充実を図りたい
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域に開かれた運営（地域の健常児との交流）、保護者やきょうだい支援（ペアトレ研修や、交流会の開催）	保護者が働いていたりきょうだいの忙しいので、保護者側にこれらのニーズがあまりないため。 また、事業所としてのスペースが狭隘なため、なかなか地域住民を招待することが難しいが、法人内の他事業所と相互連携し、他施設のホールを活用し、交流行事（2024年度は夏祭り縁日としての出張駄菓子屋招致）を行った。	保護者同士や、きょうだい交流に関しては、ニーズとの整合を図っていきつつ、「きょうだい家族への支援」をもう少し広義に捉え、交流等の“会”以外で、各ご家庭のニーズや状況に応じた支援を、法人の強みやスケールメリットも活かしつつ、模索していく。
2	第三者評価や、地域のスーパーバイザー連携、就学前施設との情報連携が乏しい実態があること	就学とともに、利用開始する児童ばかりではないため、保護者側にも、事業所側にも、それらの連携ニーズが乏しいため	同一法人内に、相談支援事業所や、認可保育所がある強みを活かし、必要に応じて情報共有のスキーム構築を検討していく
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ゆめの園みらいず春日町 放課後等デイサービス

公表日 2025年3月31日

利用児童数

51

回収数

21

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	5	0	1		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	16	3	0	2		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18	1	0	2		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15	1	0	5		
適切な 支援 の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20	1	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20	0	0	1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21	0	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20	0	0	1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20	1	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20	1	0	0		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	1	4	13		
保護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17	3	0	1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	4	3	9		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	21	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	1	0	1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20	0	0	1		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	5	8	6		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	0	0	6		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	19	0	0	2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19	0	0	2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	0	0	4		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	2	0	4		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20	0	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	0	0	4		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	21	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	20	0	0	1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	21	0	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ゆめの園みらいず春日町放課後等デイサービス				公表日	2025年3月31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		指定配置人員より多く配置している。また状況に応じて配置数よりも多く人員を確保・配置しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		トイレ、手洗い場、下駄箱、荷物置きなど生活に必要な個所は、表示や絵カードでわかりやすい環境になっています。バリアフリー設備完備、情報伝達や環境上必要な設備は揃っています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の整理整頓、清掃により清潔を保っている。様々なことができるように、空間を広くとっています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		本人の希望があった時やクールダウンが必要な時など、個別の部屋を用意しています、必要に応じて、ご使用いただいています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		月に1度のミーティングで目標を確認、毎日の反省会で振り返りを行っています。必要に応じて修正をし、全職員の意見を集約し、設定しています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年度末の会議の議題として、全職員に周知を行っています。保護者等の意向を、職員間で検討し業務改善につなげています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日の反省会、3か月に1度の会議で職員の意見を出し合える機会を設けています。また、月に3回行う1on1でも、個別に意見を聞く時間を設け、必要に応じて業務改善を行っています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		今後検討していきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		外部研修には時間が合わず参加できる機会が減りましたが、法人内での毎月の動画研修、事業所内での研修は継続して行っています。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		保護者又は本人との面談を行い、モニタリング、アセスメントを行った上で、計画を作成しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		上記に加え、必要に応じて関係機関連携会議を実施し、事業所職員のケース会議を実施しています。その内容を元に計画を作成しています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		会議での周知の他、常に情報が見えるようデジタルでの確認方法を採用しています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		適応行動→利用毎の状況→モニタリング→アセスメント→計画まで確認できるようにしています。		

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		本人、家族、移行項目を設定しており、必要に応じて学校や関係機関との内容も記載しています。地域支援、地域連携については、前記の内容に含めて設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		3か月に1度、全職員からの立案をまとめる会議を実施。チームで行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		固定しないように、季節ごとのプログラムや毎日市が鶴内容のプログラムを提供しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		集団活動や人と関わる希望が多い為、個別活動は必要に応じて設定しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎朝朝礼で打合せ、共有を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		毎日行っています。振り返り、気づき以外にも、改善点の検討をしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎日記録をし、全職員が確認、改善点を提案できるように設定しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		英氣的にモニタリングをし、必要に応じ、見直しや再作成を行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		平日に実行することが難しいことが多い、地域交流の機会については、土日、祝、長期休みに組み込み、4つの基本活動を組み合わせ支援を行っています。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		利用毎のおやつ、活動、余暇活動時には、自己決定を促しています。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		利用者様の状況を理解している、児童発達支援管理責任者、保育士、児童指導員が参画しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		協力連携期間は必要に応じ連携をとっていますが、各ご家庭の主治医とは中々連携がとれていません。その他は必要に応じ連携をとっています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		必要に応じ、双方の情報共有を行っています	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		就学前の事業所と関わる機会が少ないですが、相談支援専門員や保護者より就学前の情報をいただき、理解を深めています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		学校や相談支援専門員が本人と保護者の間に入ることが多いので、必要に応じて提供をしています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			関わる機会が少ないです。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		コロナウイルス感染症発生以降、一緒に「活動する機会が減りましたが、年に1度地域の小学校のお祭りに参加し、交流の機会を設けています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		利用毎の引き渡し時の情報共有に加え、必要に応じて連絡を取り合い共通認識を持てるよう努めています。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		研修の場は設けていませんが、必要に応じ事業所にペアレントトレーニング研修の案内を置いています。		

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時、変更時に丁寧に説明を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		面談時に確認しています。その他、利用毎の会話や必要に応じ連絡を取り合いながら機会を設けています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		保護者より求められておらず、必要性を感じないという意見しかなかったため、実施していません。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。				体制を整備し、迅速に対応しています。その後の改善策、立案も迅速に行っています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			毎月、ブログでの活動報告を行っています。活動概要、行事予定、おやつや食事内容、その他必要な事項は、電子機器で好きな時に確認いただけるように発信しています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○				
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			各種マニュアルを作成し訓練を実施しているが、全てを家族に周知できていません。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			年に2回訓練を行っています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			契約時に確認をし、面談時に再アセスメントをとっています。その他、変更の都度確認をし、職員間で共有しています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			指示書をいただいたことはありませんが、医師よりアレルギーの診断を受けた内容を、保護者より情報を共有していただきながら対応しています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			事業所間での共有、再発防止対策の他、法人内の障がい事業所との共有も図っています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			研修の他、必要に応じ話し合いの場を設けています。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			現在まで身体拘束を行うことはありませんでしたが、やむを得ず必要がある時には適切な対応後実施させていただきます。	